



# 学 校 便 り

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashidai/>

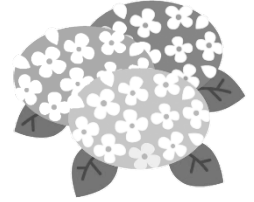
6月号

横浜市立東台小学校

電話(571)0812

令和元年5月31日

## 子どもたちが大人になったときのこと



校長 松本 久美子

木々の緑の香りのする朝の空気が気持ちのよい季節になってきました。都会の横浜でも朝の空気は澄んでいるのだなと実感します。

10連休後の学校では体験学習、まち探検、校外学習も始まり、子どもたちの学習にも活気が見られるようになっていきます。教室を見に行くと、目を輝かせて図工の作品に取り組む子、一文字一文字ていねいにノートに字を書く子、友達の意見をしっかり聞いてから自分の意見を述べる子・・・子どもたちの素敵な表情や行動を目にします。とてもうれしく、この先が楽しみになります。

これからの世の中は劇的な変化を続け、「今存在する仕事の多くを人間以外のロボットや人工知能(AI)がするようになり、世の中には今はまだ存在しない新しい仕事があられる」と言われています。それでは、ロボットやAIにはできない、人だからこそできる仕事とはどんな仕事でしょうか？

- ・人の気持ちの微妙な動きを感じて対応する仕事
- ・いくつもの情報を取り入れて全く新しいアイデアを生み出す仕事
- ・より深い専門的な知識や特別な技能が必要な仕事

このような仕事があると思います。子どもたちが大人になったときに必要な知識や技能は、今の大人が想像するものを超えているかもしれません。

大学入試も、知識の量を測るものから、考え方、発想力を問うものになってきています。それは世の中で求められている力が変化してきているからです。自分の知識や経験から考えが広げられること、それも一人でするのではなく人とかがわりながら深めたり高めたりすることができる必要になってきそうです。

東台小学校でも、このようなことを踏まえ、「共に学び、互いに認め合う子」をめざし、「集団の中で一人一人が自らの可能性を実感できる学級活動」を重点的に研究しています。「自分で考えたことを伝え、友だちと一緒に考え、自分の考えを多様に変化させることでより良い活動を生み出す」そんな経験を、たくさん積んでもらいたいと思っています。

